



株式会社フジ

第55期 報告書

55TH BUSINESS REPORT

2021年3月1日 ▶ 2022年2月28日

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第55期(2021年3月1日～2022年2月28日まで)の営業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

2022年5月
代表取締役社長 尾崎 英雄

当連結会計年度(2021年3月1日～2022年2月28日)におけるわが国の経済状況は新型コロナウイルスの感染拡大による2度にわたる緊急事態宣言を背景に、経済活動が大きく抑制されました。9月末の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の全面解除後は、サービス消費の回復を背景に個人消費が増加したことなどもあり、10-12月期の実質GDPは前期比4.6%のプラス成長となりました。しかしながら、1月以降は感染者数が大幅に増加し、一部の地域ではまん延防止等重点措置が発令されるなど、経済活動は再び抑制されました。

このような環境の中、当社グループにおいては、引き続きお客さま及び従業員の安全・安心の確保に注力するとともに、コロナ禍で続く巣ごもり需要、非接触化や「3密」回避など定着しつつある新しい生活様式への対応を推し進めました。

業績については、スーパーマーケット事業が牽引し、連結営業収益では増収となりました。利益面においても、前期コロナ禍による需要変化により業績が悪化した飲食業を始めとする子会社においては、事業構造の再構築を進めた結果、増益となりました。

中核事業と位置付けるスーパーマーケット事業は、お客さまの期待を上回る新しい提案があふれ、より安全で利便性の高い「最新店舗」づくりを目指し、既存店の活性化及び新規出店による成長と拡大を進め、それらを支えるべくサプライチェーンの整備やデジタル化の推進など、事業インフラの再構築を進めました。コロナ禍における需要変化への対応を継続するとともに、安さへのさらなる対応などにも注力したこともあり、業績は堅調に推移しました。一方で、直営の衣料・住関連商品は、お客さまのニーズに合わせた売場の拡縮などに取り組むことで販売効率を高め、荒利益率の改善に取り組みました。外出自粛や、休業・時短営業の影響を受けながらも回復基調にありましたが、1月以降は再び厳しい状況となりました。前年コロナ禍により影響を受けた子会社についてはコロナ禍で変化したニーズへの対応や事業構造の再構築等を進めています。前年実績は上回りましたが、業績の回復については厳しい状況が続いています。

当社は2022年3月1日付でマックスバリュ西日本株式会社との経営統合に伴う持株会社体制へ移行しました。経営ビジョンを「お客さまと従業員の『圧倒的な安心とワクワク』を実現する～最も地域に貢献する企業集団～」とし、これまで以上に中国・四国エリア及び兵庫県西部の地域とお客さまの暮らしに密着し、地域とお客さまの豊かな暮らしづくりを実現してまいります。今後は、地域のお客さまに圧倒的に支持していただける店舗や、マスメリットの追求による強固なプラットフォームを構築し、グループ全体で、課題を克服しつつ成長できる企業集団を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Top Message

2024年3月の経営統合に向けて、2022年3月1日、共同持株会社(株式会社フジ)を設立し、株式会社フジ・リテイリング、マックスバリュ西日本株式会社とともに新体制での取り組みがスタートいたしました。



地域とともに。 より一層の安心とワクワクをつくる スーパーリージョナルリタイラーへ

株式会社フジ 代表取締役社長 兼
株式会社フジ・リテイリング 代表取締役会長 尾崎 英雄

2022年3月1日、共同持株会社・株式会社フジがコロナ禍の収まらぬ中スタートいたしました。マックスバリュ西日本株式会社も株式会社フジ・リテイリングもそれぞれの中期経営計画や年度方針に従い、事業活動を強化・充実させながら2024年3月の完全統合に向け歩を進めてまいります。事業会社それぞれの制度、文化や価値観等のすり合わせ、そしてお互いの理解には、一定の期間(2事業年度)を要すると考えております。この2年間につきましては、全統合までのステージ設定として進捗管理を着実に進めていく所存でございます。我々の流通小売業は地域産業であり、地域社会とは不可分の存在であります。「地域とくらし」への貢献を

経営理念とする2社が統合することにより、経営基盤や背景力が強化され、今まで以上に社会課題等の解決能力が向上いたします。また、平時は当然のこととして、事故や災害時の緊急事態時においても安全・安心が提供できる、強くしなやかで効率的なサプライチェーンの構築とライフラインの機能拡充が図れるものと確信しております。

この経営統合を通して、株主さまをはじめ多くのステークホルダーの皆さまの期待に応えてまいります。株主の皆さまには、これまで以上にご愛顧ご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

株式会社フジ 役員紹介



松川 健嗣
取締役



豊田 靖彦
取締役



伊渡村 直樹
取締役



横山 めい
取締役(社外)



渡瀬 ひろみ
取締役(社外)



石橋 三千男
取締役(社外)



金野 修
監査役



面松 正人
監査役



青木 謙城
監査役(社外)



寄井 真二郎
監査役(社外)



株式会社フジ 代表取締役副社長 兼
株式会社フジ・リテイリング 代表取締役社長
山口 普

今回の経営統合によって得られる規模のメリットや効率化の効果は非常に大きいものと考えております。我々にとって大切にすべきことは、商品やサービスをご利用されるお客さまに今まで以上にご支持をいただけるように一人ひとりが行動することだと考えております。お客さまとの接点となる売場や商品、チェックアウトや接客接遇など様々な面において顧客視点で発想し、計画し、実行することに全社を挙げて取り組んでいく所存です。2年後に迎える経営統合により、両社が目指す「お客さまの豊かなくらしづくり」「地域に貢献をしていく」「人々や従業員を大切にする」ことを実践し、全てのステークホルダーから信頼される会社となるよう、最大限努めてまいります。



株式会社フジ 代表取締役副社長 兼
マックスバリュ西日本株式会社 代表取締役社長
平尾 健一

私たちが事業展開をしている中四国・兵庫エリアは、人口減少・高齢化などの継続的な課題に加え、全国的な新型コロナウイルス感染症によるお客さまの生活スタイルの変化など、これまでにない大きな課題を抱えております。このような課題に対し、これまでの企業規模や知見だけではなかなか進まなかったことでも、両社が力を合わせることで実現できることも多くあると考えております。これまで培ってきた両社の強みをいかに発揮して、スピード感をもって解決してまいります。「すべては、地域のお客さまのために。」それぞれの従業員一人ひとりがやりがいと誇りをもって働くことができる、規模だけでなく、真の地域NO. 1のスーパーマーケットを創り上げてまいります。



フジとマックスバリュ西日本は
中国・四国・兵庫の皆さまの
「圧倒的な安心とワクワク」を実現し、
もっとも地域に貢献する企業集団を目指します。



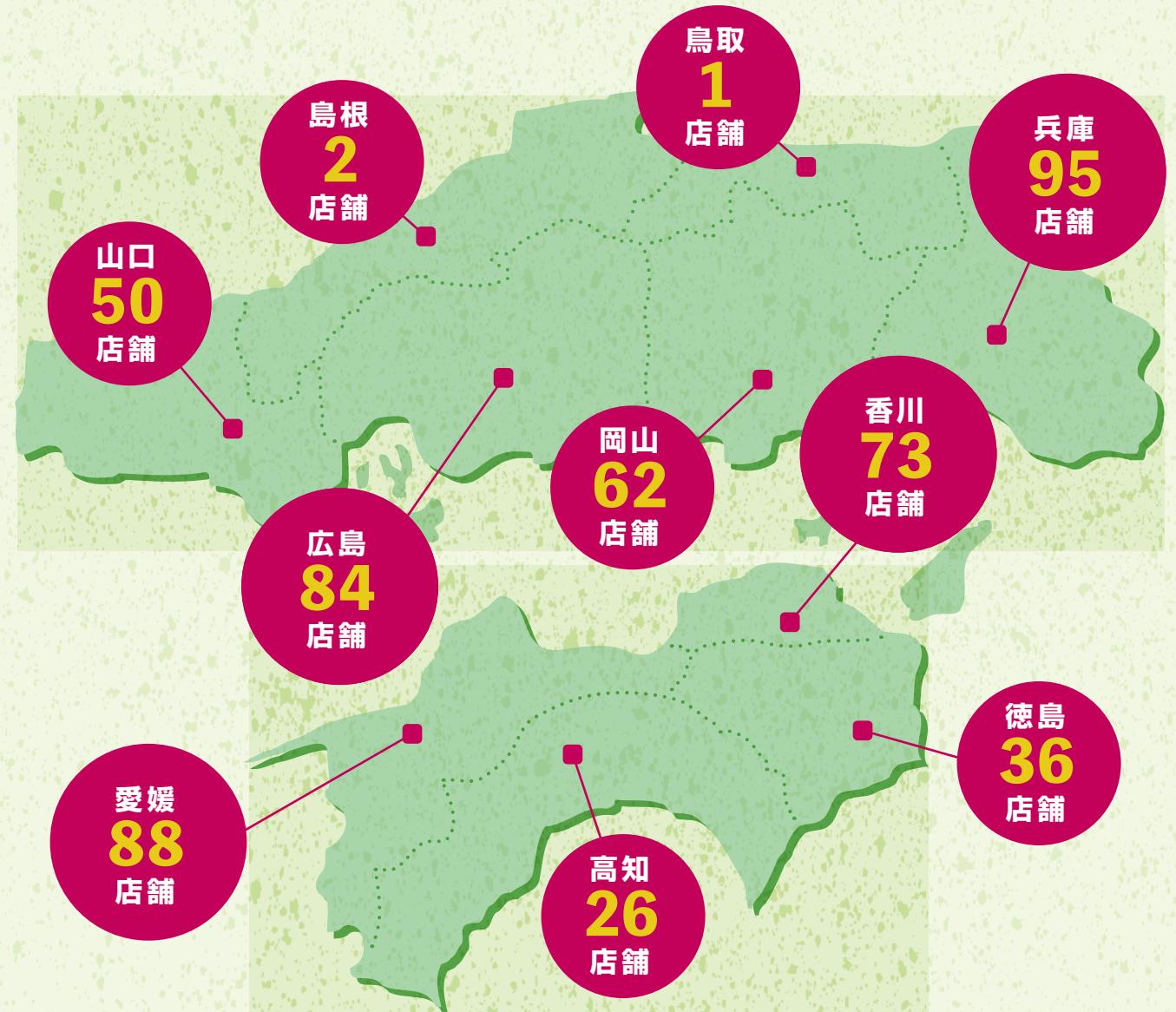
	フジ	マックスバリュ西日本
営業収益	3,208億円	5,548億円
営業利益	73.7億円	76.3億円
店舗数	129店舗 ※関係会社SM含む	388店舗
従業員数	8,126名	25,404名

(2022年2月末)

[2社合算] 営業収益 8,756億円 / 店舗数 517店舗 / 従業員数 33,530名

県別店舗数 ※2022年2月末

スーパーリージョナルリテ일러として、マーケットシェアを高め地域の暮らし全般を支えます。



株式会社フジは、豊かなくらしづくりを提案し、地域社会の発展に貢献するという理念のもと、企業活動を通じて「持続可能な社会の実現」を目指します。

「環境」「社会」の両側面における地域に根差した活動を積極的に推進してまいります。

01 「移動販売」サービスの拡大

「来店が困難な方にも商品を実際に手に取ってお買い物を楽しんでほしい」「地域のコミュニケーションの場をもっと増やしたい」との思いから、日常の買い物にご不便を感じていらっしゃる方々のくらしをサポートするため「移動販売」サービスの店舗を順次拡大しています。

「移動販売」サービスは、毎日のくらしに必要な品々を冷蔵設備のある専用車に積み込み、販売エリアを

巡回するサービスです。地域に寄り添い、ともに発展を目指す心強いパートナーとして、お客さまのくらしに便利なサービスの向上に努め、安心して豊かなくらしづくりのお手伝いをいたします。

㈱フジ・リテイリング
27店舗を拠点に、48台144ルートで展開
マックスバリュ西日本㈱
18台、販売場所約760か所で展開
(2022年2月末)



02

フードドライブ・フードバンク活動

食品ロスの削減や地域社会との共生を目指して自治体と協力し、家庭等で余った食品を店舗に持ち寄っていただき、関連支援団体を通じて子ども食堂や福祉団体などにお届けする「フードドライブ活動」や、品質に問題がないにもかかわらず市場で流通出来なくなったお米や加工食品をフードバンク事業に提供することにより、食品廃棄物の削減を目的とする「フードバンク活動」を実施しています。

今後も、地域のお客さまとともに環境に関する取り組みや意識啓発を行う活動を上げていきます。

㈱フジ・リテイリング
フードドライブ活動21店舗、フードバンク活動46店舗
マックスバリュ西日本㈱
フードドライブ活動5店舗、フードバンク活動215店舗
(2022年2月末)



03

太陽光発電システムの設置拡大

店舗屋上のスペースを有効活用した、自家消費型の太陽光発電システムの設置を拡大しています。再生可能エネルギーである太陽光を利用する発電設備を設置することで、省エネの取り組みに加え、脱炭素社会への取り組みを進めていきます。

年々激甚化しつつある集中豪雨など、大規模自然災害にも対応できるように自立型のインフラシステムの構築を図ることで、地域の皆さまに安心して施設を利用していただける店舗づくりを進めていきます。

㈱フジ・リテイリング 33店舗設置
マックスバリュ西日本㈱ 15店舗設置
(2022年2月末)

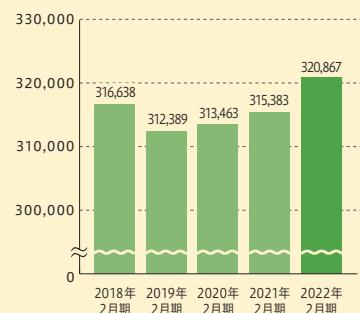


ホームページでIR情報を公開しています。
<https://www.the-fuji.com/company/ir/index.html>
 株主総会のサイトにて「第55回 定時株主総会」の動画を配信しております。



株式会社フジ FUJI

■ 営業収益の推移 (単位:百万円)



■ 経常利益の推移 (単位:百万円)



■ 純利益の推移 (単位:百万円)



■ 1株あたり利益の推移 (単位:円)



■ 自己資本比率の推移 (単位:%)



■ ROE(自己資本当期純利益率)の推移 (単位:%)

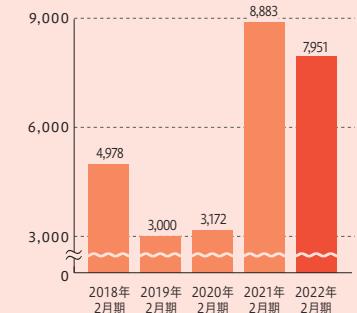


マックスバリュ西日本株式会社

■ 営業収益の推移 (単位:百万円)



■ 経常利益の推移 (単位:百万円)



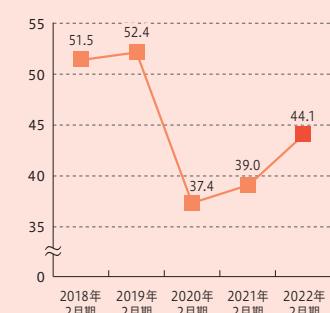
■ 純利益の推移 (単位:百万円)



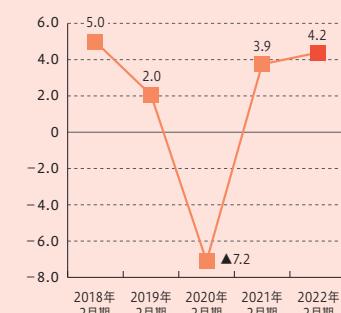
■ 1株あたり利益の推移 (単位:円)



■ 自己資本比率の推移 (単位:%)



■ ROE(自己資本当期純利益率)の推移 (単位:%)



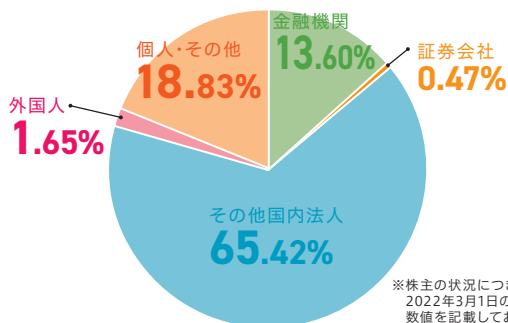
■ 株式発行状況

発行可能株式総数 …………… 130,000,000株
 発行済株式の総数 …………… 86,856,954株
 株主数 …………… 46,620名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン(株)	43,992	50.6
(株)アステイ	4,340	4.9
日本マスタートラスト信託銀行株 (信託口)	3,726	4.2
フジ共栄会	2,650	3.0
フジ親栄会	1,556	1.7
(株)伊予銀行	1,166	1.3
(株)広島銀行	1,165	1.3
(株)愛媛銀行	1,165	1.3
(株)日本カストディ銀行 (信託口)	914	1.0
(株)日本カストディ銀行 (信託口4)	897	1.0

■ 所有株式数分布状況



UD
FONT

文字が識別しやすく読みやすい
ユニバーサル書体を使用しています。

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 毎年5月
 基準日 定時株主総会 2月末日
 期末配当金 2月末日
 中間配当金 8月末日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

上場証券取引所 東証 プライム市場

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により下記ホームページに掲載します。
<https://www.the-fuji.com>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪府中央区北浜四丁目5番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 及び照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-782-031 (通話料無料)

ホームページアドレス <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社にお申出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記照会先までご連絡ください。

【特別口座の口座管理機関変更について】

2016年5月20日より、特別口座の口座管理機関を、三井住友信託銀行株式会社に変更いたしました。



株式会社フジ

〒790-8567 愛媛県松山市宮西一丁目2番1号
 TEL (089) 926-7111